

## お盆を終えて

本年度の盂蘭盆供養会を終えて10日が過ぎようとしております。役員会にて反省会を兼ねた総括を行いました。申込者数 発注塔婆数 個別合同供養者数 参拝者とすべての項目で過去最高の件数でありましたことをここに報告させていただき関係各位に対しまして心から御礼を申し上げます。檀家制度を廃止して10年 すべてのごことで結果を出すことができました。檀家はなくても構いません。総代 世話人もいません。宗派のお節介もさようならです。僧侶も職員も絞り切って少数精鋭の頭脳集団化しております。できるだけプロフェッショナルを戦力としていきます。そのため生産性は向上し稼働率合理性は極まってきました。収益率も増しとても環境はよく健全な寺院運営はできています。家族経営のところとは益々 格差は広がっていくものと思われます。宗派や(檀)信徒とは一線を画して独自の寺院経営に舵を切って業務に邁進してきた結果が如実に現れているのが実状です。組合活動に与しなければ余計なお付き合いはなくなり日々精力的な仕事と勉強ができます。いくらでも自由自在に変革ができ高度な知性が身に付きます。何よりも貴重な時間を手にすることができますから布教活動 経済活動にも専念できます。謀反を起こしてきた当該地区の人たち 当時の自治会 神社の役員はどんなかたちで責任をとっていかれるのでしょうか。発起人を奉りやれやれと煽って焚き付けてきた当該地区民の見識のなさ蛮行は後世に語りつがれていくものと思われます。さらに背後から入れ知恵をしあれこれと画策をしてきた当該教区寺院 宗務所管内寺院の人たちにも今やどんな心境でおられるのかお尋ねしたいものです。全国には檀家制度をやめて独自の寺院運営をしたいという改革派住職や僧侶は数多といるやに聞き及んでいます。しかしながら当院や私のことを垣間見てとても恐ろしくて腰が引けてしまったという人もおられたようです。こんな人たちの夢や希望を失わせてしまった当該地区や寺院の罪業はこれから跳ね返って来ることでしょう。そして当該地区寺院では改革が遅れて時代に取り残されて行きます。軌道修正ができなければ早晩 行く末は悲惨な末路となります。当院ではまもなく本堂屋根の改修の準備に入ります。これが完成しますと総工費五千万円の本堂改修事業も終わり一段落です。すべては自費です。やればできます。何事も。宗派や檀信徒はあてにしないことです。私

はつくづく今の時代は僧侶や住職にはなるものではないと思います。宗派にも檀信徒にも人物人材はなかなかいません。非常にやりにくい付き合いにくい人たちであり時代です。一般社会の方が遥かに健全です。私は最近 入院治療のため東京や横浜の大学病院に通っております。そこで多くの医療従事者と接しておりますが彼らはとても上品で知的で親切です。医師という職業にも改めて興味を持ちました。また法律家を目指しているため弁護士との接点も時々あります。彼らも私にとってはとても魅力的です。ですから子供たちには僧侶は勧めたくはありません。もしどうしても住職僧侶になりたいのであれば星野リゾート代表の星野佳路氏のような圧倒的な存在感でもってすべて自分で決められる経営者になれと言いたい。そうでなければこの仕事に魅力はありません。ただの裸の王様たちです。これからは戦犯級の人には除籍 降格(戒名) もあります。旧檀信徒が幅を効かせないようにすることも大事な戦略です。それと独自の寺院ネットワークを構築して志を同じくするサンガ(僧侶仲間)を作れば百戦錬磨 千軍万馬となります。何故 地区民たちはこの蛮行を止め彼らを注意してこなかったのでしょうか。まさに負の遺産です。これから次世代の人たちはこれを背負い暗黒の時代へと入っていくことでしょう。私のお寺はもっと自由化させてどこにでも簡単に移れるようにした方がよいと思います。新陳代謝を起こして活性化させ切磋琢磨の競争は絶対に必要です。硬直化して身動きが取れない蛸壺文化の象徴としての檀家制度はもう終わりにしましょう。当院は毎日毎日 新規顧客の相談に追われています。日進月歩の変わりようです。新時代の寺院システムも完全にマニュアル化できるところまでできています。私たちとともに飛躍をしませんか。戦力になっていただける志願者を随時 募集します。

追伸 別紙1 別紙2 も併せて参照してください。

合掌

令和4年8月26日 57回目の誕生日にて

見性院住職

## 別紙 1

### 故 A 氏に対する私の所見

- 一、 両親の葬儀の際 仏具の奉納をすると約束して購入させておきながら未納であること。
- 一、 お布施 葬儀費用が完納していないこと。
- 一、 住職の追放排斥のための署名運動に深く関わり主犯格とされていること。
- 一、 B 氏と共謀し曹洞宗宗務庁 宗務所に訴え を起こし住職罷免の請求を企てた疑いがあること。いまだ謝罪はなく名誉毀損が回復されていないこと。
- 一、 法事の時などに住職を公衆の面前で叱りつけるなど言語道断の悪行三昧であったこと。
- 一、 住職寮に何度も怒鳴り込んできたこと。
- 一、 住職罷免のためにヘイトスピーチを行い大騒動を起こしてきた中心人物とされていること。
- 一、 住職の誹謗中傷のための怪文書を作成して流布していた疑いがあること。
- 一、 住職の方針に一貫して異議を唱え事業妨害を繰り返してきたこと。
- 一、 当該地区を扇動して当院の破壊活動をしてきたこと。

合掌

令和 4 年 8 月 21 日

見性院住職

## 別紙 2

関係各位

前略 別紙の件 ご一読をしていただけますと幸いです。当該地区として今後 どのような対応をしていけるかもご一考していただけますと助かります。次世代にどんな遺産を継承していくことになるかみなさんで知恵を出し合って精進してまいりたいと思います。今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

合掌

令和 4 年 8 月 22 日

見性院住職